

図書館だより

No. 1

平成31.4.24.

★京都府立鴨沂高等学校 メディアセンター発行★（京都市上京区寺町通荒神口下ル松蔭町 131）

Welcome to Our Library

本館2F
メディアセンターへ
GO!!

▶ 開館時間 … 月曜～金曜
8:30am～17:00pm
（考査中は 13:00まで）

貸出・返却…手続きは、簡単です!!

★本を借りたいときは……

開館している時なら、いつでもOK!!

借りたい本をカウンターへ持って来て、「生徒証」を出すだけで
貸出手続きが完了。

★本を返すときは……

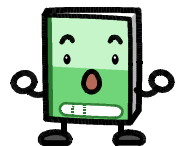
カウンターで手渡すだけ!!

「生徒証」を忘れた時も、大丈夫!

いつでもすぐに本を貸し出せるように、

みなさまのIDを準備して、お待ちしております。

☆ たくさん利用してくださいね ☆



貸出の上限冊数は、

一人につき4冊まで!

期限は通常1週間です!!

* 延べ貸出冊数が

30冊を越えると……6冊まで、

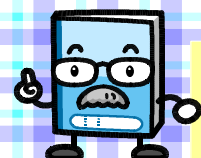
60冊を越えると……8冊まで、

100冊を越えると…10冊まで、

貸出OKになります!!

返却期限を
守ってくださいね!!

素敵な
本との出会いが
ありますように…!!



貸出期限が過ぎている本を持っている人は、
大至急、返却してください!!



ゴールデンウィーク中に本を読もう!

特別貸出実施中!!

いつもは 1人4冊までの貸出利用ですが…

4月24日(水)～5月10日(金)の期間

希望者には

誰でも10冊まで貸出OK!!

返却期限は、貸出のとき お知らせします! 厳守してください!!

「平成」から「令和」へと移る時代の転換期。
いつもより長いゴールデンウィークを有意義に過ごしてください!!

4月23日は「子ども読書の日」!

4月23日から5月12日までは「こどもの読書週間」です。

1959年(昭和34年)にはじまった、「こどもの読書週間」。2000年の「子ども読書年」を機に、期間を延長しました。

さて、「こどもの読書週間」の「こども」はなぜ、「子ども」や「子供」ではないのでしょうか? これは5月5日の「こどもの日」と名称を同じ記載にしたからなのだそうです。(読書推進運動協議会のホームページより)今年で61回となる「こどもの読書週間」。標語は「どは読書のど」…読書の楽しさを一人でも多くの方に味わっていただきたいと思います。



裏の記事も
読んでくださいね!

おすすめの**本**

京都市内・乙訓地域の府立高校の 学校図書館司書が、**2017年4月～2018年10月**の間に日本国内で出版された本（文庫化・新書化された本を含む）の中から、高校生のみなさんに特におすすめしたい本を、フィクション部門・ノンフィクション部門に分けてセレクトしました。題して『高校生にすすめるベスト・ブック**2019**』！ その中から、小説部門**4**タイトルとノンフィクション部門の**5**タイトルを ご紹介します。

★みなさん、ぜひ、読んでみてください!!★

フィクション部門

『さよなら、田中さん』

鈴木るりか 著

集英社
2017年10月出版

小学6年生の花ちゃんは、底抜けに明るいお母さんとの2人暮らし。花ちゃんとお母さんを中心に笑えたり、ほろっとしたりするエピソードが描かれた連作小説。著者は、この作品が出版されたときは、中学2年生。



『そして、バトンは渡された』

瀬尾まいこ 著

文藝春秋
2018年2月出版

母親が二人と父親が三人。彼らの間をリレーされ、4回も苗字が変わった主人公。それぞれの親とどんな風に向き合って、何を感じていたのか、どうしたいと思っていたのかを一緒に感じてください。2019年本屋大賞受賞作品！



『リマ・トウジュ・リマ・トウジュ』

こまつあやこ 著

講談社
2018年6月出版

タイトルはマレーシア語で「五・七・五・七・七」。帰国子女の中学生が、成り行きで先輩と短歌を始め…心の機微と異国語を織り交ぜた短歌が上手くマッチした味わい深い物語。



『へんなものみつけ！』

早良朋 著

小学館
2017年7月出版

自然科学系の博物館を舞台にしたマンガ。個性豊かな研究者たちが登場し、博物館の様々な仕事がかかれています。研究者の意外(豪快?)な一面と、自然科学のロマンを教えてくれる作品です。



ノンフィクション部門

『まんが アフリカ少年が日本で育った結果』

星野ルネ 著

毎日新聞出版
2018年8月出版

カメルーンで生まれ4歳で来日、両国を行き来して育った漫画家は、どんな人生を歩んできたのか？ 入学式で自分に集まる視線、英語コンプレックス、家族内での多言語会話など、おもしろく読みつつ考えさせられる。



『不死身の特攻兵』 鴻上尚史 著 (講談社現代新書) 2017年11月出版

陸軍航空隊の特攻隊員の中に、9回出撃しその都度生還した人物がいた！理不尽な命令に翻弄される将兵、特攻の真の姿を、本人への丁寧な取材と先行文献の深い読みこみによって描くノンフィクション。



『枕草子のたくらみ』 山本敦子 著

朝日新聞出版
2017年4月出版

中宮定子のために清少納言が書いた「枕草子」。平安社会を生き延びる為に、作者が用いた策略とは何か？「枕草子」の新しい扉を開く、新説にみちた書であり、平安に生きた2人の女性の心の交流が胸に迫る一冊。



『髪がなくなぐ物語』

別所芳子 著

文研出版 2017年11月出版

病気やその治療によって髪を失ってしまった子どもたちが使う医療用ウィッグを作るために自分の髪を寄付する「ヘアドネーション」を紹介する本。髪を寄付する子どもたち、受け取る子どもたちの思いに迫る。



『わたしは10歳、本を知らずに育ったの。』

シャンティ国際ボランティア会 編

合同出版
2017年12月出版

アジアの子どもたちに絵本を届ける運動や、図書館づくり等の支援活動について紹介。10代にもできるアクションも紹介されています。自分たちにできることから始めてみませんか。



裏の記事も
読んでくださいね！